|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| オリジナル | 『パンパン頭』  ２回手を打って、頭・耳・肩のうち、指示された場所を両手で触っていく。第二ゲームからは、場所をずらしていく。  ①第一ゲーム　「頭」＝頭、「耳」＝耳、「肩」＝肩  ②第二ゲーム　「頭」＝耳、「耳」＝肩、「肩」＝頭  ③第三ゲーム　「頭」＝肩、「耳」＝頭、「肩」＝耳 | ○「パンパン頭」というかけ声で、教員・子ども共に触っていく。  ○ずらした場所を予測することと、教員をしっかり見るという力をつける。 |
|  | 『ぱんぱん頭』見たまま編、聞いたまま編  　教員がパンパンと２回手拍子をして、「パンパン・・頭」と言いながら、頭を両手でさわる。「耳」と言えば耳、「肩」と言えば肩をさわる。これを子どもたちが真似る。  　一回目－教員と同じことを真似る。  二回目－見たままパンパン。教員が「パンパン頭」と言って耳か肩をさわる。子どもは頭をさわるのではなく、見たまま教員がさわった場所に手を置く。  　三回目－聞いたままパンパン。教員が「パンパン頭」と言って耳か肩をさわる。子どもは教員がさわった場所ではなく、聞いたまま頭に手を置く。 | ○『ぱんぱん頭』のオリジナルは、頭、耳、肩をひとつずつずらしていくやり方で行います。  １つずらし  　「頭」→「耳」  ２つずらし  　「頭」→「肩」です。  ○何人かの子どもを指名してモデリングをするのもよい。 |